

ハイライトよねやま ②〇

(財) ロータリー米山記念奨学会

2001年11月9日発行

ニュース news

1. 留学生受入れ制度 100 年記念式典の報告 ～ロータリー関係者に功労賞が授与

明治 34 年、当時の帝国大学などに留学生を受入れるための「文部省直轄学校外国人特別入学規定」制定され、58 人の留学生を受入れて以来 100 年が経りました。文部科学省は、留学生受け入れ制度 100 年を記念して、去る 11 月 2 日、東京の新名所お台場に完成した国際研究交流大学村で記念式典を開催しました。記念事業の一環として、天皇、皇后両陛下のご臨席のもとに、遠山文部科学大臣から留学生の受け入れ・交流に顕著な功績があった留学生交流功労者に対して表彰が行われました。米山奨学会は、全国にある奨学団体の中から選ばれ表彰を受けました。この表彰は全国 12 万人のロータリアンの長年の地道な奨学生支援に対する表彰であります。皆様と共にこの栄えある表彰の喜びを分かち合い、今後とも手を携えて、米山奨学事業がますます充実、発展することに尽力したいと思います。表彰式には、島津久厚理事長が参加しました。

また、同上の表彰式で、米山奨学会と別に、個人で顕著な功績があった 18 名の中に、金子千侍氏（秩父 RC）また、団体表彰 71 団体の中に、岡崎南ロータリークラブ（国際ロータリー第 2760 地区）が表彰を受けられました。米山奨学生の支援に加えて、地方自治体や大学等と協力して留学生支援活動を続けられているロータリー関係者に、敬意と心からのお祝いを申し上げます。（宮崎）

2. JAFSA（国際教育交流協議会）カウンセリング研修報告

11 月 2 日、JAFSA*主催の「留学生担当者のためのアドバイジング・カウンセリング実務」研修会が、京都市内のぱ・る・るプラザ京都で開かれ、米山奨学会事務局員が参加しました。大学の留学生担当者向けの内容でありましたが、米山奨学会としても共感できるものがありました。参加者全員が関心をもっている「非専門家でも援助はできるのか」という質問に対して専任講師から、①相談相手を受入れること、②「カウンセリング」という問題解決へ導くための援助、③「アドバイジング」という情報提供による支援などの基礎知識を修得することで、非専門家でも援助できるという回答があり、受入れる側の積極的態度がカウンセリングの要であることが認識できました。（西辻）

JAFSA：国際教育交流協議会（大学・留学生奨学団体で組織される協議会）

セミレポート semi report

在日留学生数 7 万 8,812 人：文部科学省発表

文部科学省は、今年 10 月に「留学生受入れの概況」（2001 年 5 月 1 日現在）を発表しま

した。在日留学生数は 78,812 人、対前年度増加率 14,801 人 (23.1%) と過去最高を記録し、なかでも中国からの留学生が 44,014 人(11,717 人、36.3%増)という大幅な伸びを示して、全体の 55.8%を占めています。日本における留学生受入れは、1983 年に日本政府が提言した「留学生受入れ 10 万人計画」に端を発しますが、政策開始から 1992 年までの 10 年間の成長期 (留学生数 1 万人～5 万人台) と、1992 年以降 5 万人台で伸び悩む 1998 年までの 7 年間の低迷期に分けられます。近年、この低迷期を乗り越えようやく 10 万人目標達成の兆しが見え始めました。

文部科学省では、留学生増加の主な理由として、アジア経済の回復を挙げています。また、中国留学生急増に関しては、一人っ子政策を取り始めた時代の子供が大学進学年齢に達し、中国の進学熱の高まりに見合う教育機関が十分整備されていない点から、漢字圏である日本への流出が増えた、と分析しています。

学部・短大・高専専修学校の留学生数が大幅増加

在籍課程別の傾向は、下表のとおり、学部生対前年度比 8,890 人 (29.0%) 増加に比べ、大学院の増加が対前年度比 1,561 人 (6.6%) と、その数値の低さが目立っています。ちなみに、2001 年度米山奨学生は 999 名ですが、その課程別内訳は、博士 51%、修士 33%、学部 13%、

大学院	25,146 人	1,561 人 (6.6%) 増
学部・短大・高専	39,502 人	8,890 人 (29.0%) 増
専修学校 (専門課程)	12,324 人	3,509 人 (39.8%) 増

その他 3%と、大学院レベルの割合が高いです。米山奨学生に望まれる優秀性は、①学業 ②異文化理解 ③コミュニケーション能力 ④地域・交流、ボランティア活動への姿勢 がありますが、学業における優秀性の座標が、留学目標の明確な大学院生の採用として現れていると言えます。こうした点からも、対象となる大学院留学生の伸びが期待されます。

なお、国 (地域) 別の順位は、中国、韓国、台湾、マレーシアと昨年同様であります。昨年 5 位のインドネシアに代わってタイが浮上しています。マレーシアは 53 名の減少です。中国(44,014 人 前年度比 36.3%増)が全体の 55.8% (昨年 50.5%) を占めています。

国籍	留学生数	構成比	前年度比
中国	44,014	55.8%	11,717 人(36.3%)増
韓国	14,725	18.7%	1,874 人 (14.6%) 増
台湾	4,252	5.4%	63 人 (1.5%) 増
マレーシア	1,803	2.3%	▲53 人 (▲2.9%)
タイ	1,411	1.8%	166 人 (13.3%) 増

現在、米山奨学生採用は「各地区の採用において 1 カ国が過半数を超えないことを目安とする」としております。現実には、過半数ではなく 1 カ国 30%以内という要望も聞かれます。一方、選考する過程で、ある程度は国籍割合を重視しながらも、個人の優秀性を勘案することにより、1 カ国が過半数を超えるのもやむを得ないという意見も聞かれます。米山奨学生採用における国籍割合に関しては、在日する中国籍留学生の増加とその優秀性を含めて、あらためて見直しが必要とされます。(栗原)

< 「留学生受入れの概況」をご希望の方は、文部科学省ホームページをご参照ください。

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/13/10/011008.htm または、米山奨学会までご連絡ください。TEL : 03-3434-8681>

留学生の受入れ概況

2001年5月現在参考資料

(文部科学省発表資料より抜粋)

◆留学生数の増加数および伸び率

年	留学生数	増加数	前年比	年	留学生数	増加数	前年比
昭和53年	5,849人	94人	1.6%	平成2年	41,347人	10,096人	32.3%
昭和54年	5,933人	84人	1.4%	平成3年	45,066人	3,719人	9.0%
昭和55年	6,572人	639人	10.8%	平成4年	48,561人	3,495人	7.8%
昭和56年	7,179人	607人	9.2%	平成5年	52,405人	3,844人	7.9%
昭和57年	8,116人	937人	13.1%	平成6年	53,787人	1,382人	2.6%
昭和58年	10,428人	2,312人	28.5%	平成7年	53,847人	60人	0.1%
昭和59年	12,410人	1,982人	19.0%	平成8年	52,921人	▲926人	-1.7%
昭和60年	15,009人	2,599人	20.9%	平成9年	51,047人	▲1,874人	-3.5%
昭和61年	18,631人	3,622人	24.1%	平成10年	51,298人	251人	0.5%
昭和62年	22,154人	3,523人	18.9%	平成11年	55,755人	4,457人	8.7%
昭和63年	25,643人	3,489人	15.7%	平成12年	64,011人	8,256人	14.8%
平成元年	31,251人	5,608人	21.9%	平成13年	78,812人	14,801人	23.1%

◆出身国（地域）別留学生数

国（地域）名	留学生数	構成比
中国	44,014人 (32,297)	55.8% (50.5)
韓国	14,725人 (12,851)	18.7% (20.1)
台湾	4,252人 (4,189)	5.4% (6.5)
マレーシア	1,803人 (1,856)	2.3% (2.9)
タイ	1,411人 (1,245)	1.8% (2.0)
インドネシア	1,388人 (1,348)	1.8% (2.1)
アメリカ 合衆国	1,141人 (1,044)	1.4% (1.6)
ヴェトナム	938人 (717)	1.2% (1.1)
バングラデ シュ	805人 (800)	1.0% (1.2)
フィリピン	490人 (477)	0.6% (0.7)
その他	7,845人 (7,187)	10.0% (11.3)
計	78,812人 (64,011)	100.0% (100.0)

◆留学生受入れ主要大学

順位	学校名	人数
1	東京大学（国立）	1,982人
2	早稲田大学（私立）	1,234人
3	京都大学（国立）	1,123人
4	名古屋大学（国立）	1,086人
5	城西国際大学（私立）	1,049人
6	筑波大学（国立）	1,011人
7	大阪大学（国立）	936人
8	九州大学（国立）	873人
9	東北大学（国立）	865人
10	拓殖大学（私立）	828人

(財) ロータリー米山記念奨学会

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館ビル8階

Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281